

2022 年 7 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に 当科において全身照射治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「リング型リニアックと汎用型リニアックにおける全脳全脊髄照射治療計画の比較」へ のご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	診療放射線技師	宮田潤也
研究分担者	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	副主任	樋口真樹子
	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	副主任	元田興博
	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	診療放射線技師	佐伯悠介
	川崎医科大学附属病院	中央放射線部	技師長	吉田耕治
	川崎医科大学	放射線腫瘍学	教授	勝井邦彰
	川崎医科大学	放射線腫瘍学	講師	松田恵治

1．研究の概要

近年、リング型リニアックと汎用型リニアックでは、幅広い症例に対して高精度放射線治療が行われています。各装置の複雑な放射線照射技術は、腫瘍へ投与される線量を保ちつつ可能な限り周辺の正常組織への線量を低減できますが、低い線量が照射される領域の増加により二次発がんリスクが増加する可能性がある事が知られています。

本研究では、各装置の放射線照射技術を用いて全脳全脊髄照射治療計画を立案し、各治療計画の線量差や二次発がんリスクについて検討します。

2．研究の方法

1) 研究対象者

2022 年 7 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院放射線治療科において全身照射の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において全身照射の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに放射線治療計画用の CT データを選び、放射線治療計画を作成し、各治療計画の線量差や二次発がんリスクについて調べます。

4) 使用する情報の種類

放射線治療計画用の CT データ、年齢、性別、身長、体重等。

5) 外部への情報の提供

行いません。

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学附属病院 画像診断センター 2 で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、二次利用することはありません。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025 年 9 月 30 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 中央放射線部

氏名：宮田 潤也

電話：086-462-1111 内線 22517（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-462-1111

< 研究組織 >

研究代表機関名 川崎医科大学附属病院

研究代表責任者 中央放射線部 診療放射線技師 宮田 潤也

共同研究機関

川崎医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線技術学科 宮田 潤也

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会及び川崎医療福祉大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。